

名草台千人塚古墳と石棺群の調査報告

賀川光夫

一 遺跡の種類 圓墳及び組合式箱式石棺

一 地番 地目

大分県玖珠郡森町大字森字名草台四六番地(千人塚) 八二番

地 八一番地 八三番地 八六番地 一五八番地(石棺群)

乃び(甕棺) 開拓農場

森町南拓道場 開拓団共有地

一 所有者

名草台とは九州山脈の中央 森盆地北辺に古状を呈しなから盆地中央

(南)に延びる中一料長さ三料の洪積性の台地である。この台地は相当の

侵蝕が行われ居り 上面は準平野 基部は磨崖を呈し 全体として

テール状の台地である。この台地の最高部は円形の封土を有する

千人塚古墳の墳頂で海拔四〇九・四三米である。台地上は略平坦で比

高は最大三〇米で全体に石棺が群集している。

名草台古墳群調査

一 発見及び予察